

# 臨床研究に関する情報公開

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1705)

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p>&lt;研究課題名&gt; JACRE-REx (ジェイエーカー レックス) (Japanese Anti-Coagulation Regimen Exploration in AF Catheter Ablation Registry- Rivaroxaban cohort Extension) カテーテルアブレーション治療周術期および術後における経口 Xa 阻害薬リバーロキサバンの有効性及び安全性評価のための後ろ向き観察研究</p>
<p>&lt;研究機関・研究責任者名&gt; 日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 (研究責任者)奥村 恭男</p>
<p>&lt;研究期間&gt; 承認日 ~ 西暦 2019 年 1 月 31 日</p>
<p>&lt;研究の目的と意義&gt; カテーテルアブレーション治療周術期および術後の経口 Xa 阻害薬リバーロキサバンの有効性と安全性を検討します。標題の研究の長期経過の分析を目的として、研究を計画いたしました。</p>
<p>&lt;利用する試料・情報の項目&gt; カルテ情報</p>
<p>&lt;対象となる患者さん&gt; 「非弁膜症性心房細動に対するカテーテルアブレーション治療周術期における経口 Xa 阻害薬リバーロキサバンの有効性及び安全性評価のための登録観察研究」 (2014 年 11 月)にご協力いただいた患者の方です。</p>
<p>&lt;研究の方法&gt; カテーテルアブレーション治療実施 1 ヶ月以降遠隔期の抗凝固療法の成績・経過をカルテにて確認させていただきます。</p>
<p>&lt;外部への試料・情報の提供等&gt; 登録患者の氏名、生年月日、住所、電話番号等の個人データは研究参加施設からデータセンターへ知らされることはございません。 学会、医学専門誌への発表の際にも、患者の氏名など、対象患者を特定できる情報は含まれません。</p>
<p>&lt;研究組織&gt; 本共同研究の研究代表者は一般財団法人 黎明郷 理事社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院 心臓血管センター循環器内科 不整脈先端治療部門 最高技術顧問 奥村 謙です。 全国のカテーテルアブレーション治療の拠点医療機関 34 施設が参加しています。</p>
<p>&lt;研究資金&gt; 本研究は、研究対象薬剤の製造販売元であるバイエル薬品株式会社より研究資金の提供を受ける。</p>

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

循環器内科

氏名:奥村 恭男

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2417 (PHS)8050